

第8回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の運営についてのご意見】

運営についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと多くの方が聞きに来ると良いですね。一緒に頑張って告知して来てもらいましょう。 	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・第9回の会場が設楽町ですが、冬の積雪期でもあり参加が難しいように考えられますか？ 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・広報の充実を望みます。 	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答、ディスカッション時、司会者のマイク音が割れて聞きづらかった。 	<p>今後の会場運営の際に留意いたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・講演の持ち時間をもう少し延ばしていただけないだろうか？もっとじっくりお話しを聞きたいです。 	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ダム建設の推進と反対の両論併記で参加者が自分で考えるというのが会の立場という事ですが、ここがポイントで、これについては考えをまとめるにはこういうヒントがあります位のコメントはあっても良いのではないかと思います。講師がお互いに質問・回等し、それを聞く機会を設けて欲しい。 	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・キビキビとした運営で、真剣な人の集まりを感じられた。豊川勤福は近いのでありがたかった。ご近所の人達はこの催しを知らないようだった。私は新聞で知りました。ありがとうございました。 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・この講座は民主的に行われていて素晴らしいと思います。もっとたくさんの県民に知っていただくよう、広報をお願いします。新聞に予告（県だより）は出されていますが、ほとんどの人は読んでいないようです。色を付ける（文字）など工夫してみてください。 	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・県民から見て設楽ダムに県民税を支出して良いか判断するためには、個別性が低い説明がこれまで多かったと思う。県民の理解度向上目的のための企画としては不満です。 	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>

第8回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の運営についてのご意見】

運営についてのご意見等	回答
<p>・今回も大熊先生のような素晴らしい方のお話を伺うことが出来て大変良かったと思っている。しかし、そろそろ国との治水、ダムに対する矛盾点を詰めていく時期に来ている気がする。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<p>・何で運営チーム内の人が質問するの？流域県民として聞いていてもおかしく感じる。事前の確認はチーム内でしていないのですか？（蔵治さん、小島さんの質問）（県民セミナーなのにチーム員のセミナーになった）</p>	<p>委員は、一般参加者からの質問から漏れている論点を拾い上げて、質問することで、全体の議論のバランスをよくする役割も担っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般参加者からの質問が尽きたことを確認してから、委員からの質問を取り上げています。 ・今回は傍聴席の委員が質問しましたが、壇上にいるコーディネータの委員が自ら質問をすることもありえます。 ・委員も県民であり、県民セミナーにおいて参加者と同様、質問する権利は保持しています。委員だからといって質問する権利がはく奪される理由はないと考えます。 <p>なお、過去のセミナーでは、県民でない参加者の質問も取り上げています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員は、当日の発表を事前に聴いておらず、一般参加者と同様、当日初めて聴くことになります。

第8回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（大熊講師）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・大熊先生のお話から、自然・環境を守りながらも治水事業は必要だということが分かりました。出来れば設楽町には、このまま自然を残してもらいたい。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大熊先生のは「川の治水」のあり方が具体的で説得力のある内容のある良い講演でした。もう少し聞きたい位です。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大熊先生のお話が大変良かったです。 ・様々な分野にて戦後作られた理論が破綻しており、今が見直しのタイミングだと治水のお話を通して理解しました。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大熊先生はご自身で資料を作成して、調べてお話されていて、内容を良く理解出来ました。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大熊先生のお話は川に対する思い入れが感じられて良かった。地元設楽町の小学校に「川には自然の命、この川を守ろう」という横幕が掛けてある。ダムから川を守りたいとの思いは地元民には根強くある。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・堤防強化方式の場合、豊川の「霞」を閉められるのかという最終目的に触れられていない。地盤改良工法を全川に展開すると水質や生態系、地下水位への影響が全川に拡散しそう。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大熊先生の話は大変有意義なものであると共に、現在の治水に関する計画がいかにも無謀なものであるかということを知りやすく話していただいたと思う。温故知新で先達の良い所を取り入れ、現在に活かすことをもっと真剣に考えなければいけないと思う。 	<p>—</p>